

幼小中つながる通信 vol.77

発行：令和 2 年 8 月 26 日 袋井市教育委員会

学園で英語力を育てる

南の丘学園



南の丘学園では、中学校と小学校の英語専門の教員が授業を行っています。

高南小 4 年生の授業を行った袋井南中学校の戸倉かおり先生と ALT（英語指導助手）のサラ先生は、「小学生はとっても元気で意欲的。アルファベットが書けなくても、何となく言っていることが分かれば OK。楽しむことが大切」と、小学生の学ぶ姿を評価。

子どもたちは、初めは中学校の先生が授業をすることに驚きと戸惑いもあったようですが、今は気軽に話しかけてくる身近な存在になっているとのこと。戸倉先生も、サラ先生も、外国の言葉を聞ける喜び、伝える楽しさを中学校まで持ち続けてもらえるよう、日々子どもたちと向き合っています。

子どもも学ぶ、先生も学ぶ

袋井南小学校の渡邊愛作先生は、同じ学園の高南小学校の 3 年生と 5 年生に英語を教えています。「同じ学園の 2 つの小学校で教えることは、自分自身にとっても学ぶことが多くあります。それぞれの学校の工夫を知ることができるのはとてもためになる。英語の授業を通して、高南小学校の先生と交流があり、いろいろ相談しています。」子どもとともに、先生も学んでいます。

fun ⇒ interesting

戸倉先生も渡邊先生も「英語を楽しむ」ことを大切にして授業を行っています。見て、聞いて、声に出して、とにかく英語を楽しむ。そして fun（楽しみ）から interesting（興味）へ。英語を学ぶ素地が養われることで中学校の学習へと繋がっていきます。

「好き」が学ぶ原動力

多くの小学生は英語の授業が好きです。楽しみ、好きになることが学ぶための原動力です。南の丘学園では学園一丸となって英語好きな子どもを育てています。

教員の学園内交流



渡邊先生とジョン先生の息の合った授業



英語で伝える楽しさを味わう

